

令和2年度

南アルプス市社会福祉協議会
事業報告

令和2年度 南アルプス市社会福祉協議会事業報告及び決算概要

令和2年度は、新型コロナウイルス感染防止対策に追われた一年でした。そのような中で、第4次地域福祉活動計画の基本理念である「わたしがつくる みんなでつくる 住民自立のまち」の実現を目指し、役職員が一丸となり工夫を凝らしながら、地域福祉推進に取り組みました。事業以外にも、市内小学校へのマスクキットの配布など、社会福祉協議会ができることを通常業務と併せて実行しました。

また、地域住民の行動計画と社協の事業計画の2つの面を持つ第4次地域福祉活動計画については、評価委員会を中心に話し合いを重ね、評価指標が定められましたので、市の地域福祉計画と連動した実行性の高い事業を推進していきます。

法人運営事業では、今後の南アルプス市社会福祉協議会の財政基盤強化に向けた経営、組織体制について、役職員一丸となって検討していくための「経営検討委員会」と今後の役員の定数、選定方法などを見直すための「役員の選任検討委員会」の設置に向け準備を進めました。

また、社会福祉法人等との連携の強化を目指した地域連絡会を開催し「1法人1防災士」に向け、今後市や県社協などにも協力を仰ぎながら進めていくことを決定致しました。

職員に対しても、経営に対する意識を高めるために、コロナ禍ではありましたが、係長以上を対象に財務に関する研修を開催しました。

地域福祉事業では、新型コロナウイルス感染拡大防止に留意しながら生活支援体制整備事業（協議体）、防災事業、ボランティア支援、育成など、住民主体の地域づくりを推進いたしました。地域福祉活動計画で採用しているステップ方式に照らし、どのような層にどのような働きかけをしていくか意識した事業展開を行っています。

新型コロナウイルスの影響により、経済的に日常生活を送ることが困難になった世帯に対しては、ふくし相談支援センターの通常的生活相談に加えて生活福祉資金特例貸付の相談受付を行いました。貸付の対応だけでなく日常的な支援が必要な世帯に対しては、貸付後の生活状況を確認し、関わりを継続しています。

成年後見センター事業では、令和2年度に市内で第1号となる市民後見人が誕生しました。また更なる市民後見人育成に向けて講座を実施した結果、講座受講者のうち16名が市民後見人として意欲を示し、日常生活自立支援事業の支援員として令和3年度から活動を始めることとなりました。

白根げんき館を拠点に、2年目を迎えた北部地域包括支援センターは、地域住民の身近な相談場所として定着し始め、多くの住民の方々に利用されてきました。社協が行う事業や活動と連携を図りながら、個別課題から地域課題へと展開できるよう協議体とのつながりも増やしながらか業務に取り組んできました。

介護、障害福祉サービス事業は、コロナ禍のなか、感染拡大防止を充分行いながら、社協の理念をふまえた質の高い支援を目指しました。居宅介護支援事業は、主任介護支援専門員を中心に困難ケース、インフォーマルな支援にも継続的に力を注ぎました。訪問介護事業は、個々の課題や地域の課題についての解決に向けた取組みにより、在宅生活を支えるためのサービス向上を図っております。3か所のデイサービスは、それぞれの特色を生かした在宅生活の支援や、地域貢献となる支援を積極的に行ってきました。

令和2年度の決算は、収入総額 518,882,341 円、支出総額 528,229,582 円で当期資金収支差額合計はマイナス 9,347,241 円となりました。法人部門のマイナス分を介護事業の収益で補い、足りない分は前年度繰越金を充てております。

新型コロナウイルスの影響を大きく受けた年でしたが、職員一人ひとりが感染拡大防止をしながら、地域福祉推進のための業務にあたりました。令和3年度も、市からの理解を得るなかで、健全で適正な運営に努めてまいります。

令和2年度 南アルプス市社会福祉協議会事業報告

I 法人運営事業

1 法人運営事業

法人運営の基盤整備を進め、経営体制の強化を図りました。

- ① 正副会長会議の開催
- ② 理事会・評議員会の開催
- ③ 評議員選任・解任委員会の開催
- ④ 監事の監査
- ⑤ 庁内会議
- ⑥ チーム制による会議
 - ・地域福祉活動計画評価推進チーム
 - ・社協発展強化計画推進チーム
- ⑦ 労務人事管理
- ⑧ 法人会計
- ⑨ 衛生委員会開催（ストレスチェック含む）
- ⑩ 視察研修実施・受入れ
- ⑪ 市議会への説明会
- ⑫ 市内社会福祉法人等との連携のための地域連絡会

名 称	内 容	開催回数・日付
正副会長会議	理事会、評議員会の対応について他	4回
理事会	第1回 令和元年度事業報告、決算他	5月28日
	第2回 評議員候補者の評議員選任・解任委員会への推薦について他	9月3日
	第3回 令和2年度資金収支第二次補正予算について他	12月10日
	第4回 令和2年度資金収支第三次補正予算について他	3月12日
評議員会	第1回 令和元年度事業報告、決算他	6月12日
	第2回 令和2年度資金収支第二次補正予算について他	12月18日
	第3回 令和2年度資金収支第三次補正予算について他	3月19日

評議員選任・解任委員会	第1回 評議員の解任・選任 第2回 評議員の選任	6月5日 9月10日
監事による監査	令和元年度定期監査	5月18日
庁内会議	会長、副会長、局長、次長、課長、所長による全体会議	13回
チーム制会議	地域福祉活動計画評価推進チーム 社協発展強化チーム	8回 2回
労務人事管理	社会保険労務士への相談	4回
法人会計	会計事務所による監査	13回
衛生委員会	衛生委員会開催 ストレスチェック実施	1回 1回
市議会への説明	社協事業、予算の説明	2月15日
市内社会福祉法人等との連携のための地域連絡会	令和2年度第1回（今後の方向性、1法人1防災士への取り組みについて等）	11月12日
苦情解決第三者委員会	令和元年度の苦情・事故・ヒヤリハット報告会（46件）	書面にて報告
防災訓練	通報・避難・消火訓練（デイサービスセンターわかくさと合同で実施）	11月26日

視察研修受入れ ※新型コロナウイルスの影響により無し

2 苦情解決体制

社協が行う事業に係る市民や利用者等からの苦情を解決するための体制を整え、対応しました。

- 苦情解決責任者 事務局長
- 苦情受付担当 各事業所の管理者
- 第三者委員 苦情解決に社会性や客観性を確保し、利用者の立場や特性に配慮した適切な対応を図るため3名の委員を委嘱

苦情	事故（車両事故含む）	ヒヤリハット	合計
6件	34件	2件	42件

苦情の内容及び対応・結果の概要（令和2年度）

No.	部署	内容	対応・解決結果等
苦情	総務課	病院の受診同行支援時、他受診者の靴を動かし、自分たちの靴を揃えて置いたことに対する不快な思いとヘルパーへの指導をお願いしたいとの要望。	不快な思いをさせたことについて謝罪し、担当課より内容を調査し折り返す旨伝えるも、ヘルパーの指導をしっかりともらえばいいとのことで、指導を行う旨を伝える。担当課へ苦情について報告、すぐにヘルパーの指導を行い、ヘルパー間でも情報共有を行った。
苦情	訪問介護課	利用者より、実際の支援時間と記録の時間の相違があることと、支援時の対応に不快な部分があるため、ヘルパーを変えてもらいたいとの申し出があった。	所属長とサービス提供責任者が利用者宅へ伺い、利用者の訴えと実績記録を確認。ヘルパーと面談し、実績の記入は正確な時間を時計を見て記入することと、態度や言動に注意するよう指導した。
苦情	訪問介護課	「車いすへ深く座れるように体を引っ張って欲しいとヘルパーに依頼したが、重いからできないと言われた。そのヘルパーにはなるべく訪問してほしい」と、訪問介護の利用者がデイサービス利用時に職員へ苦情を申し出た。	所属長がヘルパーと面談を行い、訪問時の状況を確認。言動態度についてはこれまでも指摘した経過があり、今回の事実を受け止め、態度に気を付けるよう指導した。ヘルパーから利用者に直接謝罪した。
苦情	地域福祉課	民生委員より、おやつサービスでAさん宅を訪問した際、勝手に家を片付けられものを盗られたと訴えあり。社協の職員の名刺が出てきたため、事実確認とどういった経過でその支援をするに至ったか、その職員が支援したとの証明が欲しいと相談があった。	職員に聞き取りを行い民生委員には経過を説明、支援の証明は難しいが、Aさんの財産を不当に持ち出していないことを伝え、内容を文書にして渡す。Aさんには謝罪し、今後社協は家を訪問しない事を約束、支援は市と北部包括に引き継がれた。
苦情	デイサービスゆうかり	朝の送迎時、デイの車両を公道に停めたことにより、東隣の住民が自宅へ戻れないと指摘を受けた。直に謝罪し車を移動させ、送迎終了後、上司に報告。その後、電話でもデイに苦情が入る。	電話には所長が対応、同日夕方、ご自宅へ担当と所長で謝罪に伺い、今回の件、納得して頂く。今後は利用者宅の敷地内に車を停めることを職員間で周知徹底した。
苦情	訪問介護課	「サービス責任者に依頼した内容がヘルパーに伝わっていない」。「ちょっとした事を頼みたいが、来てくれない」と利用者から所属長に苦情の申し出があった。	同日課長とサービス提供責任者で利用者宅を訪問。依頼内容が伝わっていなかった事を謝罪した。「ちょっとした頼み事のための訪問」について、ケアプラン以外の訪問対応は訪問介護では難しいことを伝えた。

3 会員の確保

自主性を持った社協活動の拡充、地域福祉活動のより一層の充実を図るため、一般会員や賛助会員への加入を促進しました。そして、自主財源の確保に努めるとともに、事業運営の一層の効率化や経費削減に努めました。

- ① 一般会員（南アルプス市民、市内の社会福祉事業を運営する企業・団体等、市内の福祉活動を行う団体等）の加入及び協力促進
- ② 賛助会員（社協の趣旨に賛同する個人・法人・企業・団体等）の加入促進

一般会費（自治会）

地 区	実世帯(戸)	自治会加入世帯	会 員 戸 数	金 額 (円)
八 田	2, 8 3 2	1, 9 3 2	1, 6 3 9	1, 6 3 9, 0 0 0
白 根	7, 7 2 1	5, 5 3 5	4, 8 1 8	4, 7 7 0, 0 0 0
芦 安	1 2 9	1 2 7	1 0 7	1 0 7, 0 0 0
若 草	4, 9 4 5	2, 9 8 9	2, 5 5 5	2, 5 5 5, 0 0 0
櫛 形	7, 2 4 6	5, 8 2 8	4, 6 7 0	4, 6 6 1, 4 0 0
甲 西	4, 8 7 7	3, 4 9 4	3, 0 2 3	3, 0 2 3, 0 0 0
合 計	2 7, 7 5 0	1 9, 9 0 5	1 6, 8 1 2	1 6, 7 5 5, 4 0 0

一般会費（社会福祉事業を行う個人、団体から）納入状況

区 分	会員数	金 額 (円)
個人	83 人	194,000
団体	25 団体	191,000
合 計		385,000

賛助会費納入状況

区 分	会員数	口数	金 額 (円)
団体	27 団体	39 口	169,000

4 広報活動

地域の社会福祉活動や社協の事業を深く理解してもらうために必要な情報を広く住民に伝え、福祉の啓発を図りました。

- ① ボランティア情報誌の発行
毎月1日発行 印刷数（1回につき）20,200部
（新聞折込19,450部）

- ② 社協だよりの発行
年2回発行(7月・2月第1日曜日) 配布数(1回につき) 20,200部
- ③ ホームページによる情報発信
- ④ フェイスブックによる情報発信
掲載記事 154 いいね数 1932

5 福祉バスの運行

若草バス・楡形バス2台を温泉巡回や市民の研修等への参加のために運行しました。

福祉バスの運行

	運行回数(温泉)	乗車人数(温泉)
楡形福祉バス	84(77)	211(128)
若草福祉バス	77(74)	76(48)
計	161(151)	287(176)

6 実習生の受入れ

- ① 社会福祉士実務研修
令和3年1月25日～令和3年2月26日 1名
- ② 介護福祉士実務研修
新型コロナウイルスの影響により無し
- ③ 介護支援専門員実務研修
新型コロナウイルスの影響により無し
- ④ 白根高校インターンシップ
新型コロナウイルスの影響により無し
- ⑤ 支援学校現場実習
新型コロナウイルスの影響により無し

7 役職員合同研修の実施 ※新型コロナウイルスの影響により中止

8 施設の管理

管理者として適切な管理運営とサービスの向上に努めました。

- ① 白根げんき館管理運営(指定管理)
- ② 甲西保健福祉センター管理運営(指定管理)
- ③ 旧若草健康センター管理運営

施設名	利用人数(通所E除く)
① 白根げんき館(指定管理)	1,925名

② 甲西保健福祉センター（指定管理）	8,233 名
③ 旧若草健康センター（補助金）	1,885 名

※4月～6月までは貸し出し休止(市へガイドライン提出後再開)

9 社協発展強化計画の推進

地域福祉活動計画と連動した職員行動計画の策定準備をしました。

※マスクキットの配布

5月22日（金）市内小学生分約3,700枚 教育委員会へ寄贈
社協役職員・ボランティアの方々による手作り

II 地域福祉推進事業

「わたしがつくる みんなでつくる 住民自立のまち」の実現に向けて、地域の誰もが暮らしやすい地域づくりを進めました。

1 地域福祉活動への支援

ボランティア活動や地域福祉活動が活発に行われるよう支援しました。

① ボランティア団体助成事業

社協が活動費を助成しているボランティア団体 41 団体
内訳（20,000 円 41 団体 10,000 円 0 団体）

② ボランティア育成支援事業

ボランティア事業

開催日 回数等	事業名	延べ参加者数
毎月1回(第3水)	男性ボランティア定例会	各回4～5名
毎月1回(第2火)	女性ボランティア定例会	各回4名
毎月1回(第3木)	話し相手ボランティア定例会	各回4～7名
ごみ拾い2回 花植え1回	花植えごみ拾いボランティア活動	22名

○男性ボランティア講座

令和3年1月21日（木）13:30～15:00 本所 参加者6名

内容：ボランティアとは？

講師：韮崎市社会福祉協議会 窪嶋 泰斗 氏

韮崎男性ボランティアの会 代表 清水 昭二 氏

③ ボランティア交流会開催

令和2年10月10日（土） 11 団体参加

④ 当事者の会等の活動支援

⑤ ふれあい・いきいきサロンへの支援

⑥ 障害者サロン等への支援

●高齢者サロン

開催箇所数	29 団体
-------	-------

●子育てサロン

開催箇所数	4 団体
-------	------

●障害者サロン

開催箇所数	2 団体
-------	------

●その他サロン（全般）

開催箇所数	25 団体
-------	-------

研修会の開催 全 2 回（1 回目：39 名・2 回目：79 名）

サロン団体ガイドブック作成（49 団体掲載）

⑧ 小地域福祉活動（ふれあい広場）

実施地区	予定自治会数	実施自治会数	備 考
八田地区	2 か所	2 か所	
若草地区	8 か所	7 か所	

⑨ 地域交流拠点「しゃきよんの家下町」

来場者数

種 別	延人数（団体数）	備 考
昼食提供者	3 名	年間 26 食（囲碁クラブなど）
来所者数	175 名	

拠点貸出

内 容	貸出回数	備 考
囲碁クラブ	24 回	延べ 97 名参加

学習会・体験・講演会（イベント）デイ利用者含まず

事業名	開催回数	延参加人数	備考
映画鑑賞	8回	2人	
ゆる体操・体操教室 等	10回	9人	
音楽関係（舞踊等）	10回	6人	
教養講座	12回	11人	

地域との連携

会議名	開催日	参加者数	備考
運営推進会議	8月、3月	10名	
協議体参加	10回	1名	

- ⑩ 生活支援体制整備協議体
 （第2層生活支援コーディネーター配置事業）
 生活支援体制整備協議体開催

地区	開催日
八田地区	6月26日、7月31日、8月28日、9月24日、10月23日、11月27日、2月26日、3月26日
白根東地区	6月24日、7月9日、9月23日、11月16日、1月27日、3月24日
白根源地区	6月23日、7月22日、9月23日、10月21日、11月24日、3月31日
白根百田地区	※3層での話し合い実施
白根飯野地区	6月29日、7月20日、8月17日、9月17日、10月15日、11月24日、12月11日、1月14日、2月16日、3月22日
白根飯丘地区	6月23日、7月21日、8月21日、9月15日、10月20日、11月9日、12月8日、1月13日、1月13日、2月10日、3月10日
若草北地区	6月25日、8月6日、10月22日、12月17日、2月25日
若草南地区	6月11日、9月23日、12月15日、1月12日、2月16日
楡形西地区	6月23日、8月25日、10月28日、12月9日、2月10日
楡形北地区	7月3日、8月7日、10月17日、12月21日、2月3日、3月31日
楡形小笠原	※3層での話し合い実施
楡形豊地区	6月26日、7月29日、8月27日、10月15日、12月1日、2月18日

芦安地区	6月17日、7月28日、8月25日、9月16日、10月29日、11月26日、12月18日、1月28日、2月18日、3月3日
甲西大明地区	7月17日、8月28日、9月24日、10月30日、11月27日、1月22日、2月19日
甲西南湖地区	6月3日、7月9日、8月20日、9月17日、12月11日、3月10日
甲西落合地区	6月1日、6月29日、7月29日、8月17日、9月28日、10月26日、11月16日、12月23日、1月23日、2月24日、3月24日

延べ回数 103回 延べ人数 1,526人

○4月第2層へアンケート実施 424人/208人 回答率49.1%

○支えあいディスカッション2020

令和2年12月16日(水) 19:00~21:00 桃源文化会館

参加者87名

内容：事例発表・意見交換

講師：公益社団法人さわやか福祉財団 鶴山芳子氏

○協議体活動スキルアップ勉強会

令和3年3月19日(金) 19:00~21:00 若草生涯学習センター

参加者74名

内容：「居場所ってどんなカタチ？」

講師：たすけあい遠州代表 稲葉ゆり子氏

○2層協議体運営意見交換会・・・市介護福祉課との情報交換会14回

○アルピー通信掲載 6地区

○ボランティア情報誌 2層5地区、3層5地区掲載

○協議体活動プラン作成 2地区

○3層設置数47か所

⑪ 自治会が行う買い物支援における車輛貸出事業

貸出回数	3回	加賀美区自治会
------	----	---------

※R2年10月までは新型コロナウイルス影響のため貸出し無し

2 高齢者の生きがいづくりへの支援

高齢者が生きがいを持っていきいきと過ごせるよう支援しました。

① 介護支援ボランティア・ポイント制度事業

登録者数	161名	延べ活動回数	690回
活動受入施設	48か所	内在宅活動回数	262回
ポイント活用申請者数	27名	合計ポイント数	815p

養成研修等開催日・参加者数	養成研修 R2. 8/25 1名 R3. 2/24 12名
	フォローアップ研修 R2. 8/25 19名

② 通所型サービスE事業（介護認定を受けていない65歳以上の方）

	実人数	回数	延べ人数	備考
八田地区	18	78	520	1か所
白根地区	42	113	916	1か所
芦安地区	5	39	135	1か所
若草地区	34	52	610	4か所
甲西地区	29	131	620	1か所
計	128	413	2,801	8か所

③ 単位老人クラブの活性化

内容：単位老人クラブ活動助成金 12件

3 在宅福祉活動の推進

住み慣れた自宅での生活が安心して送れるよう支援しました。

① ふくし生活支援サービス事業

サポーター数	72名
--------	-----

② おやつサービス事業

実施回数	71回
------	-----

※芦安地区2月は中止

③ 食の自立支援事業

実人数	66名	延べ配食数	14,409食
-----	-----	-------	---------

④ 通院サービス事業（本所・芦安）

	登録者数	延べ利用者数
本所通院サービス	63名	492名
芦安通院サービス	18名	165名

⑤ 車椅子・福祉車輛の貸し出し事業

車椅子	28台	福祉車輛	延べ 185回
-----	-----	------	---------

⑥ 介護保険外ホームヘルプサービス

実施回数	114回
------	------

⑦ 制度外入浴サービス事業

実施回数	累計 14回
------	--------

4月6日～5月28日（週1回 夫婦2名 7日間利用）

4 福祉の意識啓発

子供から高齢者までそれぞれの状況に合わせて、福祉への関心が高まるよう啓発を行いました。

① 社会福祉大会の開催

日 時：令和3年 1月17日（日）櫛形生涯学習センター

内 容：第一部式典（表彰）

第二部講演「知ることで変わるこれからの共生社会」

講師 anlib株式会社 代表取締役 堀内麻実氏

※出席者を限定しての開催のため、CATVや社協だよりにて詳細を配信

② ボランティアスクール開催

実施回数	1回	参加者数	17名
------	----	------	-----

○「東京オリンピックを2倍楽しむために」「ボッチャ体験」

講師：山梨県ボッチャ協会 会長 小林俊介氏

③ ふくしポスター募集

応募数 750点

審査結果 最優秀賞 1点 優秀賞 3点 佳作 6点

社会福祉大会において表彰

④ 学校でのふくし教育

実施校	8校	延べ参加児童・生徒数	1,484名
-----	----	------------	--------

⑤ ふくし勉強会（9月から開催）

通信講座	3回	参加者数	72名
まとめ学習会	1回	参加者数	36名

⑥ 企業向けの研修会

実施回数	0回	延べ参加者数	0名
------	----	--------	----

⑦ 専門職向け研修

※コロナ感染予防のため開催はせず実践報告書を送付

実施回数	1回	配布事業所数	70事業所
------	----	--------	-------

5 防災・減災への意識啓発

防災をキーワードに地域づくりを進めるとともに、頻発する災害への支援を行いました。

① 災害ボランティアセンター設置運営訓練

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため集合研修はせず、研修用動画を作成し、職員向け及びボランティア団体助成金説明会で上映。

② 福祉避難所開設訓練

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

③ 防災地域出前講座（自治会、各種団体、サロン等）

実施回数	4回	延べ参加者数	131名
------	----	--------	------

④ 防災福祉教育

実施回数	1校	延べ参加者数	37名
------	----	--------	-----

⑤ 防災意識啓発活動

地域防犯・防災への取組みとして、業務の帰途等に公用車に青色回転灯を装備し市内の自主防犯パトロールを行いました。

実施回数	14回
------	-----

⑥ 被災地への職員・ボランティアの派遣

※新型コロナウイルスの影響により無し

⑦ 災害・防災ボランティアの育成支援

実施回数	1回	延べ参加者数	37名
------	----	--------	-----

「避難×新型コロナ」～災害時、感染症とどう向き合う～
令和2年9月12日（土）9:00～12:00 本所 参加者37名

⑧ 被災地支援ボランティアバスの運行

※新型コロナウイルスの影響により無し

6 相談支援

1) 生活課題への相談支援

生活上の様々な相談にのり、解決に向け支援を行います。

① コミュニティソーシャルワーカー配置事業

相談件数延べ 9,812件 実人数 771名

相談支援方法	延件数	連携機関	延件数
自宅訪問	866	本人	4,794
来所相談	1,111	同居家族	365
同行支援	113	別居家族	132
電話相談(連絡調整)	3,281	地域住民・知人	402
電子メール	346	民生委員	280
個別支援会議	101	店・企業	158
関係機関との連絡調整	3,850	医療機関	111
その他	144	警察・保健所	75
合計	9,812	地域包括支援センター	122
		北部地域包括支援センター	240
		市 介護福祉課	2
年代別相談支援者数	実人数	市 家庭児童相談室	99
15歳未満	3	市 健康増進課	35
15～29歳	94	市 福祉総合相談課(生保)	112
30～39歳	104	市 福祉総合相談課	580
40～49歳	139	その他市役所各部署	152
50～59歳	165	障害者相談支援センター	112
60～64歳	51	障害者計画相談	98
65歳以上	197	社会福祉協議会(県・他含)	1,722
年齢不明	18	ケアマネジャー	142
合計	771	その他	79
		合計	9,812

② 出張ふくし相談会

月2回(第1、第3水曜日)開催 相談来所者数 21名

開催場所 全20回開催

4/8 甲西保健福祉センター(0名)

4/22 しゃきよんの家下町(1名)

5/13 浅原集落センター(3名)

5/20 百々公民館(0名)

8/5 芦安窓口サービスセンター(4名)

8/17 今諏訪集落センター(2名)

9/9 社会福祉会館(1名)

9/23 下高砂集落センター(1名)

10/7 湯沢公民館(1名)

10/14 デイサービスももその(0名)

11/4 加賀美公民館(1名)

- 11/18 六科集落センター (0名)
- 12/2 徳永集落センター (1名)
- 12/21 桃の丘コミュニティーセンター (2名)
- 1/6 戸田公会堂 (0名)
- 1/20 上八田公民館 (0名)
- 2/12 富士見町公会堂 (3名)
- 2/24 十日市場ふれあいセンター (0名)
- 3/10 オーチャードヒル区 (1名)
- 3/24 榎原集落センター (0名)

③ 生活福祉資金貸付事業・生活福祉資金利子補給事業 (R3.3.31 現在)

生活福祉資金 (緊急小口資金、総合支援資金) 申請状況

緊急小口資金	469 件	89,060,000 円
総合支援資金	340 件	190,100,000 円
総合支援資金 (延長貸付)	125 件	68,100,000 円
総合支援資金 (再貸付)	38 件	20,550,000 円

※全て新型コロナウイルスの影響による特例貸付

生活福祉資金利子補給事業	0 件
居室整備資金利子補給事業	0 件

社会福祉金庫貸付事業

新規貸付	0 件	0 円
R 2 年度償還	36 件	131,500 円
償還完了	3 件	
徴収不能処理	0 件	
貸付残額	29 件	1,951,595 円

④ ステップワン事業

不登校、ひきこもり、精神疾患など社会との関わりをなかなか持つことができない方を対象として、ゲームや卓球など興味のある内容で、外に出る機会として開催しました。市障害者相談支援センター、中北保健所とも共同して行いました。

実施回数	12 回	延べ参加者数	26 名 (保護者 1 名)
------	------	--------	-------------------

⑤ 困窮者支援事業

準要保護世帯児童 (小学 3 年生) を対象とした学用品支援

対象児童数	49 名	購入者数	25 名
-------	------	------	------

困窮者に対し社会と繋げる支援

対象数	4名	実施内容	本棚の製作
-----	----	------	-------

※学用品支援の余剰金を利用

2) 権利擁護に関する相談支援

自己の権利を表明することが困難な方の権利を護り支援しました。

① 法人後見事業

法人後見関係受任件数

新規受任件数	2件	保佐1 補助1
終了件数	1件	後見1
受任件数（死後事務含む）	25件	後見11 保佐4 補助4 死後事務6
延べ相談支援回数	1,086回	担当者会議含む

② 成年後見制度相談会他

後見センター相談受付状況

新規相談件数	57件	
延べ相談支援回数	233回	担当者会議含む
後見相談会	6件	

③ 後見センター委員会関係

委員会名	日程	備考
成年後見センター運営委員会	7月7日、11月17日、3月25日	R元年度報告、R2年度事業計画等
後見業務検討委員会	5月7日、2月25日	後見候補者としての検討

④ 啓発活動

内容（対象者）	日程	場所・主催者等
成年後見制度、日常生活自立支援事業について（計画相談）	9月17日（木）	市役所・計画相談連絡会
成年後見制度と日常生活自立支援事業を知ろう（市内介護支援専門員）	12月11日（金）	若草生涯学習センター（南ア市介護支援専門員連絡会と共同開催）
知っ得セミナー～遺言・相続・成年後見制度を知ろう～（市民）	12月14日（月）	地域防災交流センター
成年後見制度を学ぶ（八田ふれあいの会）	2月26日（金）	八田ふれあい情報館

成年後見制度を学ぶ（あやめ生き生き大学）	3月25日（木）	楡形生涯学習センター あやめホール
----------------------	----------	-------------------

⑤ 日常生活自立支援事業契約件数
（福祉サービス利用援助事業・県委託事業）

新規契約件数	3件	精神障害2 その他1
終了件数	5件	認知症1 知的障害1 精神障害2 その他1
契約件数	72件	認知症17 知的障害29 精神障害23 その他3
延べ相談支援回数	6,948回	担当者会議含む

⑥ 市民後見人等養成事業（市委託事業）

内 容	日 程	備 考
生活支援員・市民後見人養成講座 基礎研修Ⅰ	1月22日（金）	
市民後見人養成講座 基礎研修Ⅱ	2月5、12、19、26日	希望者は4月から1年間の実践研修（16名）

市民生活支援員 6名 市民後見人 1名（3名推薦準備中）

7 地域福祉活動計画の推進

第4次地域福祉活動計画（令和2年度～令和6年度）が着実に遂行できるよう評価、推進を行いました。

第4次地域福祉活動計画の評価、推進（新規）

アドバイザー：山梨県立大学 人間福祉学部 福祉コミュニティ学科
高木准教授

評価委員会	第1回 8月27日 第2回 10月6日 第3回 3月12日	策定委員と評価委員顔合わせ等 「地域福祉活動計画と評価について（講義）等 評価指標決定等
評価推進チーム会議	6月26日、7月13日、 8月17日、9月7日、 10月1日、10月19日、 11月13日、3月17日 （全8回）	課を横断した職員8名で構成

Ⅲ 介護保険事業(委託事業)

1 地域包括支援センター事業

地域住民の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援しました。

① 北部地域包括支援センター事業

総合相談支援業務・権利擁護業務

支援実件数 602件 対応のべ件数 5248件

①相談者別 (のべ件数)			① 受付分類別 (のべ件数)		
本人	887		保健・医療	294	
家族・親族	1391		認知症関係	518	
地域住民・知人	43		精神疾患	130	
民生委員	124		介護保険	2242	
ケアマネジャー	1027		住宅改修	3	
サービス事業者	140		福祉用具	14	
医療機関	346		施設入所	54	
庁内行政機関等	729		総合事業・介護予防事業	9	
庁外行政機関等	56		在宅福祉サービス	24	
地域包括支援センター	181		障害福祉に関すること	16	
社会福祉協議会	150		介護一般の相談	261	
障害福祉関係機関	14		日常生活相談	419	
障害者相談支援センター	32		情緒的支援	0	
警察	19		家族間の問題	68	
消防	0		近隣との問題	9	
成年後見人	6		生活保護・生活困窮	93	
成年後見センター	43		虐待関係 (高齢者)	236	
その他	60		虐待関係 (障害者)	9	
空白	0		成年後見制度	82	
合計	5248		日常生活自立支援事業	0	
相談方法 (延べ件数)	新規	継続	合計	消費者被害	28
電話	101	1695	1796	DV相談	0

訪問	20	607	627	苦情	2
来所	147	247	394	見守り相談（情報提供）	16
連絡調整	140	2157	2297	実態把握（サービス未利用者）	12
個別支援会議	0	0	0	実態把握（介護予防把握事業）	40
メール・文書	5	37	42	実態把握（安否確認）	84
その他	3	89	92	介護離職	1
合計	416	4832	5248	その他	82
				合計	4746

地区・年代別集計（延べ）

男性	40代	50代	60代	70代	80代	90代	100代	不明	合計
八田	1	0	22	298	295	35	0	0	651
白根	5	55	238	411	813	105	0	2	1629
芦安	0	0	0	56	10	0	0	0	66
若草	0	0	0	0	0	0	0	0	0
櫛形	0	0	0	0	0	0	0	0	0
甲西	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市外	0	0	1	0	0	0	0	0	1
不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	6	55	261	765	1118	140	0	2	2347

女性	40代	50代	60代	70代	80代	90代	100代	不明	合計
八田	0	7	55	236	404	81	0	0	783
白根	3	43	79	629	1077	194	0	0	2025
芦安	0	0	6	71	3	0	0	0	80
若草	0	0	0	0	0	0	0	0	0
櫛形	0	0	0	0	0	0	0	0	0
甲西	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市外	0	0	10	0	0	1	0	0	11
不明	0	0	0	0	0	1	0	1	2
合計	3	50	150	936	1484	277	0	1	2901

包括的・継続的ケアマネジメント業務

介護支援専門員への相談支援 502件

ケアマネ支援（相談・助言）	398	ケアマネ支援（医療機関等への同行）	7
ケアマネ支援（サービス調整）	0	ケアマネ支援（担当者会議参加）	9
ケアマネ支援（関係機関調整）	11	ケアマネ支援（会議開催支援）	1
ケアマネ支援（同行支援）	47	ケアマネ支援（その他）	29

新規介護予防プラン プランチェック実施件数 2件

② 北部指定介護予防支援事業

ケアプラン作成件数

第1号介護予防支援事業 直営 411件 委託 141件

指定介護予防支援事業 直営 317件 委託 242件

IV 介護保険事業

介護保険制度による介護サービス事業所として、高齢者等が要介護状態になっても住み慣れた地域でいきいきと生活が送れるよう良質なサービス提供を目指し運営してきました。特に令和2年度は介護事業所全体で新型コロナウイルス感染防止対策に取り組み、利用者の日常生活に必要な支援が滞ることのないように事業を継続し、経営を行うことが出来ました。

1 居宅介護支援事業(1事業所)

介護認定を受けている利用者の個々の状況に合わせて、利用者主体の居宅介護計画（ケアプラン）作成に取り組んできました。特に支援困難な状況や複雑な背景に置かれているケースには、地域の支援者や多様な資源をケアプランに取り込み、多職種とともに利用者の生活を支えるチーム作りを目指してきました。また主任介護支援専門員を配置し5名の体制で、特定事業所を維持して運営することができました。

新規依頼の相談(年間の実人数) 83件 うち支援開始 65件

カンファレンス・担当者会議 245回

① 介護保険

要介護度	年間利用者数 (月利用者数の年合計)	月平均件数 小数点以下四捨五入
要介護1	446	37
要介護2	705	59
要介護3	349	29
要介護4	191	16
要介護5	84	7
合計	1,775	148

中重度者(介護3～5)の割合は全体の35%となっている。

② 介護予防

要介護度	年間利用者数 (月利用者数の年合計)	月平均件数 小数点以下四捨五入
要支援 1	12	1
要支援 2	37	3
合 計	49	4

③ 実習受け入れ

令和2年度介護支援専門員実務研修による実習は新型コロナウイルス感染拡大防止のため無し

④ 研修の演習助手派遣 無し

2 訪問介護事業・介護予防訪問介護相当サービス事業・訪問型サービスA事業(1事業所)

要支援、要介護認定を受けている利用者、または総合事業対象者の居宅にホームヘルパーや支援員が訪問し、個々のケアプランに沿って身体介護や家事支援を行い、利用者自身が主体的に、地域で自立した生活ができるようサービス提供を行いました。利用者が一番身近なところで支援を行う介護サービス事業であり、日常の支援の中でキャッチした個々の課題や地域課題については、解決に向けて発信し、多様なサービスや地域の資源につなげるように努めました。

①介護保険事業(訪問介護・総合事業訪問型サービス・訪問A)

サービス提供日数	月間利用者数の合計(年)
365 日	1,294 人

内訳	訪問介護	920 人 (月間利用者数の合計)
	総合事業訪問型	47 人 (")
	訪問型A	327 人 (")

②講師派遣・協力

- ・講師派遣は無し
- ・介護人材確保・定着対策魅力発信事業(山梨県福祉保健部健康長寿推進課)

介護アンバサダー 介護職員1~2年目研修 ファシリテーター3回
介護魅力発信プロジェクト会議 4回

③ 訪問介護実習等の受け入れ ※新型コロナウイルスの影響により無し

3 通所介護事業・介護予防通所介護相当サービス事業・通所型サービス A 事業 (3 事業所)

令和 2 年度は介護事業が厳しい状況の中、それぞれの特徴を生かしながら社会福祉協議会のデイサービスが目指す利用者一人ひとりに寄り添った介護を大切に、高齢者のみならず誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう幅広いサービスの展開を行ってきました。また、新型コロナウイルス感染防止対策にも力を入れ運営してきました。

災害時に、福祉避難所として運営を行う場合に備えた設置訓練や地域の交流の場として、施設活用のための研修が、新型コロナウイルスの影響により実施できませんでしたが、今後地域住民とも連携を取りながら進めていきます。

デイサービスゆうかりは温泉を利用した入浴サービスを売りとして高齢者（要介護者と要支援者）と障害者の基準該当障害サービスの生活介護も実践してきました。例年同様に軽度者が全体の 7 割近くを占める状況は変わっていません。利用年数を経て緩やかに介護度が上がって行く傾向が見られます。

デイサービスセンターわかくさは、中重度だけでなく軽度の受け入れも積極的に行い、介護と看護の両面から利用者や家族に寄り添い、あらゆるニーズに対応してきました。また基準該当障害サービスの生活介護も実践し共生ケアにも積極的に対応してきました。しかし、その反面入院や施設入所者の増加によりリスクも高く思うような実績を上げることは出来ませんでした。

デイサービスしゃきよんの家下町は、地域密着通所介護事業所として、利用者の事情に柔軟に対応し、家庭的な雰囲気の中で、サービスを提供してきました。今年度は新型コロナウイルスの影響から、様々な交流の自粛などがありましたが、感染予防に努めながら地区の民生委員、ボランティアや体操講師などの協力を得るなか、地域課題である「地域の元気な高齢者の居場所作り」に取り組んできました。

① 利用状況（全利用者）

事業所名	定員	年間開設日数	1 日平均利用者数	延べ利用回数
デイわかくさ	30	310	18.2	5,692
デイゆうかり	30	310	24.0	7,455
しゃきよんの家下町	10	310	7.2	2,243

(1) 要介護度別利用者数

事業所	要支援1		要支援2		介護1		介護2	
	平均 登録者数	延べ 利用回数	平均 登録者数	延べ 利用回数	平均 登録者数	延べ 利用回数	平均 登録者数	延べ 利用回数
デイわかくさ	0	0	1.2	129	10.8	1,329	11	1,716
デイゆうかり	0	0	2.6	261	9.2	1,026	25.2	3,694
しゃきよんの 家下町	0	0	2.4	181	3.7	282	8.1	1,175
合計	0	0	6.2	571	23.7	2,637	44.3	6,585
事業所	介護3		介護4		介護5		合計(延べ利用回数)	
	平均 登録者数	延べ 利用回数	平均 登録者数	延べ 利用回数	平均 登録者数	延べ 利用回数		
デイわかくさ	8.1	1,144	4.0	425	2.3	544	5,287	
デイゆうかり	13.3	1,715	4.2	568	0.6	145	7,409	
しゃきよんの 家下町	3.4	480	1	125	0	0	2,243	
合計	24.8	3,339	9.2	1,118	2.9	689	14,939	

デイゆうかり

*要支援1・2以外の総合事業（通所型サービスA） 平均登録者数 1名
延べ利用回数 47回

(2) 介護保険外利用者数

デイわかくさ

*基準該当障害福祉サービス 平均登録者数 2名 延べ利用回数 254回

デイゆうかり

*基準該当障害福祉サービス 平均登録者数 1名 延べ利用者数 99回

しゃきよんの家下町

*要支援1・2の内 総合事業（通所型サービスA）平均登録者数 1.5人
延べ利用回数 87回

② 年間の主な行事

- ・お花見会
- ・保育園児との交流
- ・夏祭り
- ・おやつづくり
- ・紅葉狩り
- ・クリスマス会
- ・節分会
- ・誕生会
- ・映画鑑賞
- ・地域住民の交流
- ・小学生との交流
- ・敬老会

- ・子育てサークルとの交流会
- ・感謝祭（地域交流）
- ・教養講座

② ボランティア協力状況

事業所	定期的なボランティア数	訪問ボランティア団体数	訪問ボランティア回数
デイわかくさ	延べ 417 人	10	95
デイゆうかり	延べ 47 人	8	16
しゃきよんの家下町	延べ 50 人	5 団体他個人	30

③ 実習受け入れ

新型コロナウイルスの影響により受け入れ無し

⑤ 講師派遣・協力

2月17日 「職業別懇談会」 白根高校1年生授業

V 障害福祉サービス事業

障害者総合支援法による指定障害福祉サービス事業所として、関係機関と連携し、利用者がその人らしい自立した在宅生活が送れることを目的に、家事や外出時の介護など日常生活を支援しました。新型コロナウイルス感染防止対策の取り組みを強化し、事業の継続と安定した経営を行うことが出来ました。

① 障害者総合支援事業(居宅介護・重度訪問介護・同行援護)

サービス提供日数	月間利用者数の合計(年)
365 日	627 人

② 障害者移動支援事業(委託事業) 利用者数は月間利用者数の合計(年)

ヘルパー支援型 利用者数	171 名	年間	826 回
車両型 利用者数(登録者 21 名)	153 名	年間	523 回

③ 養育支援訪問事業 (委託事業)

利用件数	1 名	派遣回数	2 回
------	-----	------	-----

④ 生活介護(基準該当障害福祉サービス)

* 基準該当障害福祉サービス
 延べ人数 504 名
 延べ回数 504 回

VI その他

- ① 各種団体、各保健・福祉施設等との連携
- ② 南アルプス市老人クラブ連合会及び各支所老人クラブ連合会事務局の運営
- ③ 山梨県共同募金会南アルプス市支会の運営
赤い羽根共同募金配分内訳 令和2年度社会福祉協議会事業

事業名	事業内容	配分額(円)
地域社会福祉事業(A4)	ふくしポスターの募集 学校でのふくし教育 ふくし勉強会	475,000円
	社会福祉大会事業	370,000円
	地域福祉活動計画評価事業	350,000円
地域福祉活動推進事業(A5)	福祉活動支援として車輛購入	1,500,000円
あったかサービス事業(A6)	ふれあいいきいきサロン助成事業	1,000,000円
地域における防災・減災のまちづくり事業(A7-2)	地域への防災・減災の啓発活動など	285,000円
みんなで地域をよくする事業(A7-4)	一次相談事業・ふくし小委員会・地域福祉活動団体助成	475,000円
市町村社協地域福祉活動事業(B1)	ボランティア情報誌発行 社協だより	2,500,000円
小地域福祉活動事業(B2)	ふれあい広場助成事業	562,500円
地域福祉活動団体推進事業(B3)	ボランティア団体育成事業	700,000円
歳末たすけあい事業(C)	困窮者支援事業	100,000円
計		8,317,500円

④ 街頭募金活動

10月1日(木) 新型コロナウイルスの影響により、社協職員のみで、市内3か所【Aコープ白根店・Aコープ甲西店・綿半(八田)】において実施

Ⅶ 職員の質の向上(職員研修)

研修日	内 容	講 師	参加者
8月3日	青色回転灯装備自主防犯パトロール実施者講習	南アルプス警察署 横山警部補	8名
8月11日 2月24日	JAF交通安全座学講習会	J A F山梨支部 丹沢氏	16名 4名
8月18日 24日	ハラスメント研修	ウェルビーイング 塚原正明氏	22名 20名
9月25日	接遇研修	山梨中銀経営コンサル ルディング株式会社 西川美紀氏	18名
10月29日 2月22日	財務分析実践研修	ラッセルズ株式会社 平野健一郎氏	20名 15名
11月4日	地域福祉活動計画と評価方法 について	山梨県立大学 高木寛之氏	39名

総務課

研修日	内 容	主催者	参加者
10月28日	職務分析・職務評価セミナー(同一労働同一賃金への対応に向けて)	PwC コンサルティング 合同株式会社	4名
11月4日	はたらく人の睡眠を考える	山梨産業保健総合支 援センター産業保健 研修会	1名
12月15日	安全運転管理者等法定講習	山梨県警察	2名

地域福祉課

社外研修

研修日	内 容	主催者	参加者
8月26日	生活支援コーディネーター養成・スキルアップ研修会	山梨県福祉保健部健 康長寿推進課	2名

10月23日	ひとりにしなという支援	全国地域生活定着支援センター協議会	5名 オンライン
12月7日	コロナ禍での社協の相談援助活動について	全国社会福祉協議会	1名 オンライン
12月14日	「地域運営組織」の形成に向けた地域別研修会	山梨県	3名
12月16日 1月20日	市町村社会福祉協議会ボランティア担当者研修会	山梨県社会福祉協議会	3名
12月22日	コロナ禍での地域活動について	全国社会福祉協議会	5名 オンライン
1月23日	山梨県内の外国人支援の現状と課題ー相談・支援事例を通して考えるー	山梨県国際交流協会	10名 オンライン
1月28日	南アルプス市途切れのない支援連携研修会	南アルプス市自立支援協議会子ども部会	1名
2月10日 2月20日	南アルプス市引きこもり支援市民講座	南アルプス市福祉総合相談課	4名 オンライン
2月21日	やまなしボランティア・NPO ネットワーク交流会	山梨県社会福祉協議会 山梨県ボランティア・NPOセンター	1名 オンライン

社内研修

研修日	内 容
地域福祉推進係研修 (社協内他所属職員も参加)	5月 硬筆の書き方 7月 起案や提出物の書き方 9月 共同募金について 12月 プログラミングについて 2月 PPT資料の作り方
ふくし相談支援センター内研修 (社協内他所属職員も参加)	6月 虐待について 7月 解決志向アプローチについて 10月 障害者相談支援センターについて 1月 聴覚障害について
防災について	3月 災害ボランティアセンター動画上映会

成年後見センター
外部研修

研修日	内 容	主催者	参加者
6月30日	日常生活自立支援事業契約締結審査会	県社協	1名
6月30日	日常生活自立支援事業基幹的社協専門員連絡会議	県社協	1名
9月2日～3日	日常生活自立支援事業専門員実践力強化研修会Ⅰ	全社協（オンデマンド配信）	2名
10月12日～13日	成年後見制度利用促進体制整備 基礎研修	全社協（オンデマンド配信）	2名
10月19日～20日	成年後見制度利用促進体制整備 基礎研修	全社協（ライブ配信）	1名
2月9日	日常生活自立支援事業契約締結審査会	県社協	1名
	日常生活自立支援事業基幹的社協専門員連絡会議		1名
2月17日	日常生活自立支援事業新任生活支援員研修会	県社協	2名
3月5日、24日	日常生活自立支援事業実践力強化研修会Ⅱ	全社協（オンデマンド配信）	3名
3月10日	成年後見制度の未来～任意後見制度の利用促進と民事信託	日本司法書士会連合会 公益法人成年後見センターリーガルサポート （オンデマンド配信）	4名

内部研修

研修日	内 容	参加人数
7月31日	市民後見人とは	11名
9月25日	意思決定支援における基本的な考え方 国内の意思決定支援ガイドライン	12名
10月30日	精神障害・知的障害について知る	12名
11月19日	傾聴の実践について	12名
1月29日	介護保険制度について学ぶ	10名
2月26日	税金について学ぶ	11名

居宅支援課

研修名 (主催・項目)	内容 ()は受講人数	受講者数 合計
山梨県	・介護支援専門員更新研修Ⅱ	1名
南アルプス市	・南アルプス市介護支援専門員連絡会、地域支えあい協議体合同研修	2名
山梨県社協	○J Tリーダー研修	2名
(県・峡中)介護支援専門員協会	・新型コロナウイルス感染拡大防止対策研修会(1)、課題整理総括表の基本(2)・課題整理総括表(3)、居宅介護支援事業所管理者研修(1)	7名
社協主催	・成年後見制度と日常生活自立支援事業	4名
課内研修 自主研修	・運営基準・特定事業所要件(5)・社協ケアマネジャーの倫理(6)・保健衛生学習会12回(61)・ケアマネジメントプロセス・ファイリング(5)・定期巡回訪問看護(5)・アセスメント(5)・福祉用具(4)・ターミナル期の医療連携(5)・障害福祉サービス(6)・課題整理総括表(5)・ケアプラン(5)・包括との連携(5)	117名
事例検討会	・事業所内8回(42)・他事業所合同3回(9) ・社協法人内合同9回(20)	71名
社協職員研修 法人内企画研修	・地域福祉課起案書の作り方と予算の立て方(1)・交通安全講習(2)・職場のハラスメントに関する研修(5)・青色パトロール講習会(1)・財務分析(2)・地域福祉活動計画評価研修(4)・支えあいの地域づくり実感フォーラム(3)	18名

訪問介護課

研修名	内 容 ()内は参加人数	参加者数
事業所内部 研修会	・サービス提供責任者学習会「ハラスメント」(6)「感染症対策」(6)「災害時のヘルパーの動き」(6)・ヘルパー支援員マニュアル(33) ・防災の備え(30)・災害時のフローチャート	205名

	(30) ・感染症対策 (31) ・接遇マナー (31) ・権利擁護 (32)	
山梨県	・介護職員2年目研修 (1) 、3年目研修 (1)	2名
山梨県社協 全社協	・OJTリーダー研修 (2) ・コロナ禍での社協介護サービス (1)	3名
社協職員研修 法人内企画研修	・地域福祉課起案書の作り方と予算の立て方 (1) ・交通安全講習 (3) ・職場のハラスメントに関する研修 (6) ・青色パトロール講習会 (2) ・社協職員接遇向上研修 (2) ・財務分析 (2) ・地域福祉活動計画評価研修 (4) ・支えあいの地域づくり実感フォーラム (3)	23名

通所介護（ゆうかり・わかくさ）

研修名	内 容	参加者数
山梨県中小企業人 事開発センター	能力開発セミナー：アンコンシャスバイアス キャリアアップ講習会：リーダーに求められる テクニカルスキル	2名
社協職員研修	接遇向上研修 財務会計研修（基礎編・分析編）	8名
施設内研修	権利擁護セミナー（福祉従事者のための権利 擁護制度）感染対策研修	30名
山梨県	介護保険サービス事業所 集団指導	2名

通所介護（しゃきよんの家下町）

研修名	内 容	参加者数
キャリアパス支援	モチベーションアップ研修	1名
社協職員研修	接遇向上研修	2名
社協職員研修	財務会計スキル活用 財務会計スキル活用分析編	1名 1名
社協職員研修	地域福祉活動計画と評価 ハラスメント研修	1名 1名
施設内研修	虐待防止・権利擁護施 利用者の生活を支えるための感染対策（厚労 省）	6名 6名

社協活動リモート 会議	コロナ禍での社協の介護サービスについて	2名
----------------	---------------------	----

北部地域包括支援センター

研修日	内 容	場 所	参加者
7月8日	地域包括支援センター職員研修	やまなしプラザ	2名
7月8日	第2層協議体意見交換会	げんき館	1名
7月28日	認知症初期集中チーム会議	市役所第6会議室	2名
7月29日	高崎市包括との情報交換会	市役所西別館	1名
7月29日	解決志向アプローチ	社協本所	1名
7月30日	第1層協議体研修	若草生涯学習 センター	2名
8月11日	認知症推進委員会	市役所第4会議室	1名
8月17日	地域包括支援センター職員研修	ぴゅあ総合	3名
8月25日	認知症初期集中チーム会議	市役所第6会議室	1名
8月31日	地域包括支援センター職員研修	ぴゅあ総合	3名
9月8日	成年後見利用促進計画検討会議	市役所本庁	1名
9月9日	第2層協議体意見交換会	白根げんき館	1名
9月10日	認知症推進委員会	市役所第4会議室	1名
9月25日	接遇研修	社協本所	2名
9月30日	出前講座	今諏訪集落センター	1名
10月17日	認知症初期集中チーム会議	市役所第4会議室	1名
11月4日	活動計画会議	社協本所	2名
11月6日	チームオレンジ研修	市役所第4会議室	1名
2月7日 ～11月8日	令和2年認知症初期集中チーム 研修	バルサール汐留 (東京都)	1名
11月12日	認知症推進委員会	市役所第4会議室	1名
11月20日	在宅介護支援センター協議会	ホテルクラウン パレス甲府	2名
11月24日	認知症初期集中チーム会議	市役所第4会議室	1名
12月10日	認知症推進委員会	市役所第4会議室	2名
12月15日	地域福祉施策推進会議	市役所本館大会議室	1名
12月22日	認知症初期集中チーム会議	市役所第4会議室	2名

12月22日	コロナ禍における地域活動	社協本所	1名
12月23日	第2層協議体意見交換会	社協本所	2名
1月9日	支えの地域づくり実感フォーラム	桃源文化会館	1名
1月26日	認知症初期集中チーム会議・認知症推進会議	市役所第4会議室	2名
1月26日	地域福祉施策推進会議	市役所本館3階 大会議室	1名
2月2日	地域福祉施策推進会議	市役所	1名
2月12日	中北管内認知症地域連絡会	市役所	1名
2月17日	認知症予防講演会	桃源文化ホール	2名
2月24日	社協活動実践研修会	防災新館	1名
2月2日	南アルプス市介護支援専門員連絡会	南アルプス市役所新館地下第1会議室	2名
2月19日	介護支援専門員管理者研修	山梨県医師会館	1名
3月5日	日常生活自立支援事業と専門員の役割	社会本所	1名
3月9日	認知症初期集中チーム会議	市役所第4会議室	1名
3月10日	任意後見制度の利用促進と民事信託	社協本所	1名
3月11日	認知症推進会議	市役所第4会議室	1名
3月15日	地域における排泄機能の維持・向上推進研修会	山梨大学医学部	1名
3月22日	ささえあいセミナー	社協本所	2名
3月25日	きらら運営推進会議	寄りあいどころ きらら	1名
3月27日	令和3年度介護報酬改定説明会	昭和町総合会館	1名